

越生・報恩寺



真言宗智山派・松溪山
行基の開山、鎌倉時代は天台
宗の寺院。
室町時代中期に真言宗に改め
られ、
江戸時代には真言宗の学問所

宮戸・宝蔵寺



真言宗智山派寺院・薬王山佛眼院
創建年代は不詳、古くより宮戸の西側字薬師
堂山に薬師堂があり、その後当地に高橋内膳
某が寺院として開山したといえます。





天台宗



新座市・平林寺



臨済宗妙心寺派の寺院・金鳳山
修行道場として僧堂が設置されている。境内林は、武蔵野の面影を残す雑木林として、昭和43年（1968年）に国の天然記念物に指定されている。

1375年さいたま市岩槻区に創建
当初は臨済宗建長寺派。大徳寺派を経て妙心寺派の寺院となる。

寛文3年（1663年）

川越藩主・松平信綱の遺志を受け、子の輝綱が菩提寺として現在地に移転。



朝霞市・泉蔵寺



清澤山
慶誉寂心房法印（永徳2年1382年寂）が開山となり創建

朝霞市・一乗院



真言宗智山派寺院・
山号を並流山、院号を一乗院、寺号を平等寺
弘法大師空海によって立教開宗された真言密教の法燈を斟み、京都東山の智積院を惣本山とし、真言宗智山派に属する寺院
御本尊様は、十一面観世音菩薩
高麗郡が設置された霊亀716年の後戦乱があり、戦乱を逃れた5人（高麗氏）が創建、観音寺と呼ばれていたといひます。

新座市・普光明寺



福壽山・普光明寺（ふこうみょうじ）」と号する真言宗智山派の寺院です
大同元年（806年）に律宗の比丘（りしゅうのびく）が開山

朝霞市・東円寺



真言宗智山派寺院・松光山

本尊 薬師如来像

創建年代は不詳ですが、古来より薬師堂とその別当寺が近隣にあったといい、その薬師堂が廃れたのを惜しんだ法印永慶が寛弘年間(985~1011)に再建し中興高祖となったといひます。

太田道灌が当寺本尊薬師像を、城内鎮護として持ち去ったこともあったものの無事返還、徳川家康江戸入府後には、当地の代官となった甲斐荘喜右衛門が当寺を当地へ移転しました。

不動堂横には霊泉とされる不動の瀧があります。

川越・一乗院



川越・成田山



川越・川越城



新座市・青雲山天照院 龍海寺 単立



川越市・鷲嶽山 蓮光寺



「鷲嶽山 蓮光寺」と号する曹洞宗の寺院
山号は鷲嶽山
開山は永正 17 年（1520 年）寺領 7 石を持っていた
観音堂 - 観音立像が置かれている。
徳川家康一行がこの地に鷹狩りにやって来た際、お茶を差し上げ、お礼
に御朱印七石を受けたそうです。

